

事務事業チェックシート

事務事業No **562** 事業名 **警防関係事業**

[事業基本情報]

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	2	消防・救急救助体制の充実
施策	2	消防力の充実
基本方針	2	常備消防力の強化

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		消防費	
	項		消防費	
	目		消防費	
	大事業		消防事業	
事項		警防関係事業		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令	消防組織法		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	警防課	井本 博隆 (428-0119)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	複雑多様化する災害に対応するための資機材購入及び消防自動車・機械器具を整備充実し、市民の生命、身体、財産を守るため、常に即応できる体制を整備する事業。	消防活動に必要な器具及び物品の購入 自動車燃料費及び自動車保険料等の支出 消防自動車等の点検及び修繕 消防機械器具の点検及び修繕 各種検査の実施				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		消防車両の車検整備及び修繕 消防機械器具の点検及び修繕 消防機械器具の購入	消防車両の車検整備及び修繕 消防機械器具の点検及び修繕 消防機械器具の購入	消防車両の車検整備及び修繕 消防機械器具の点検及び修繕 消防機械器具の購入	消防車両の車検整備及び修繕 消防機械器具の点検及び修繕 消防機械器具の購入	消防車両の車検整備及び修繕 消防機械器具の点検及び修繕 消防機械器具の購入

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	45,268	54,301	52,133	53,785	54,580		54,580		54,580		
	伸び率 (%)	-	-	15.2%		4.7%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	7,679	8,437	8,005	7,668	7,668		7,668		7,668	
		非常勤職員	101	134	201	188	188		188		188	
		小計	7,780	8,571	8,206	7,856	7,856		7,856		7,856	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他			500	500								
一般財源 (税等)	45,268	54,301	51,633	53,285	54,580		54,580		54,580			
所要人数	常勤職員	1.04	1.11	1.05	1.03	1.03		1.03		1.03		
	非常勤職員	0.05	0.06	0.10	0.10	0.10		0.1		0.1		
主な予算内訳		・自動車用燃料費 21,439千円 ・自動車修繕料 16,234千円 ・各種器具購入 5,883千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	各種災害に対応する車両及び消防機械器具の点検件数				年度目標値	176	194	207	207	
					実績値	187	192			
	単位	件	全体目標値	991	全体目標達成度	38.2%	年度別達成度	106.3%	99.0%	
	各種災害に対応する車両及び消防機械器具の修繕件数				年度目標値					
					実績値	273	217			
成果指標					年度目標値					
					実績値					
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			
					年度目標値					
					実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	複雑多様化する災害に対応するための資機材購入及び消防自動車・機械器具を整備充実し、市民の生命、身体、財産を守るため、常に即応できる体制を整えておかなければなりません。
「見直し」 「改善」案	大規模災害等が予想される中、消防組織力の強化が必要不可欠である。